地域をけん引、好調な自動車産業

エコカー分野へ進出

富士重工業のスポーツカー「スバルＢＲＺ」

数万点にのぼる部品数の波及効果で日本経済を支え続ける自動車産業。富士重工業の唯一の完成車拠点、群馬製作所が立地するのは群馬県太田市だ。震災からの回復と新型車種の投入で繁忙が続き、周辺企業もにわかに沸いている。

同製作所は２０１２年度に約60万台と高水準の生産計画を打ち出す。米国に１工場を持つ同社は中期経営計画の最終年度である15年度に日米で79万台の生産を計画、このうち7割超は群馬での生産が占める。

現在は提携するトヨタ自動車と共同開発したスポーツカー「スバルＢＲＺ」や小型車「インプレッサ」など新商品のヒットが相次ぎ、製造現場は忙しい。インプレッサについてはこれまでの矢島工場（同）に加えて、軽自動車工場から衣替えした本工場（同）でも8月に同車の生産を始める。「ブリッジ生産」と呼ぶ2工場の生産体制によって、他車種の生産を需要に応じて柔軟に変更できる。

今秋に国内発売する新型スポーツ多目的車（ＳＵＶ）「インプレッサＸＶ」の予約は6月23日に開始。先行販売した欧州などの好調な販売動向を背景に、国内販売にも期待が集まる。13年には富士重初となるハイブリッド車（ＨＶ）を市場投入する予定だ。日本市場での存在感が高まるエコカー分野への進出により、顧客の選択肢がさらに広がる。一方で、ガソリン車からＨＶへと車種が拡大することは、車づくりを支える部品会社に変化を突きつけている。より軽く燃費向上に貢献できる部品開発の技術と提案力の高さが生き残りを左右しそうだ。

地場企業、競争力強化へ

サプライヤーの変化

「鍛造業界の中で会社のポジションを上げていく」。富士重工業出身でイチタン（群馬県太田市）の宮脇基寿社長はそう力を込める。同社が手がけるクランクシャフトはエンジンの中核部品だ。

同社は年1億円ほどの投資を続け、生産設備の改善などに充てる。競合社との受注競争に勝つために製造コストを2－3割低減する。宮脇社長は「生産性と品質、技術力の向上が重要だ。中堅、若手クラスを中心に体系化した教育に力を入れたい」と将来を見すえる。

主に富士重と取引する太田市周辺のプレス部品メーカーの経営者は「これまでと同じ作り方では勝てない」と強調する。富士重の増産に対応するため、生産ラインの設備を見直して生産効率を高める。人は増やさず、モノの流れ方など小さな改良を積み重ねる地道な作業を続ける。さらに、研究開発にも熱心だ。車メーカーの軽量化ニーズに応えるため、軽くて高強度の樹脂部品や新素材の部品の実用化に向けて研究に時間を割く。「数年先の事業は見えない」。将来への危機感を原動力に未来への種まきを続ける。

自動車大手の一部では国内の生産能力を削減する動きが相次いでいる。中長期の国内市場の縮小は避けられないとの見方は強いが、中小の部品会社にとって海外進出は一朝一夕ではいかない。

「国内の基盤が盤石で初めて海外事業はうまくいく。進出を軌道に乗せる力が今は乏しい」。そう語るのはホンダ系の一次部品会社と取引する県内の2次サプライヤーだ。それでも「開発面で先を切り開きたい」と前を見る。樹脂部品を手がける同社は、従来は金属だった部品を軽くて安価な樹脂に転換する技術に定評がある。部品大手と協力して軽量で低コストの新商品の開発に賭けている。

イチタンが手がけるクランクシャフト。部品会社は競争力強化に動きだしている

県は産学官のコーディネーターの育成にも力を入れている（6月に開いたコーディネーター連絡会議）

県はマッチング強化

中小企業にとって足りない力を他社と補うための連携は重要だ。そのためには行政の手厚い支援も不可欠だ。群馬県は企業間や大学との共同研究を橋渡しするコーディネーターの育成を強化している。

6月18日。前橋市内の会場に集まった約50人は大学や各自治体、銀行など産学官の連携を後押しする担当者たちだった。2年前から始めた活動で「コーディネーター連絡会議」。各機関の担当者が個々の事例やマッチング事業を紹介するなど「意見を交わして交流を深められる良い機会」（県）と位置づけている。

企業の成長を助ける立場だが、共同研究の場合、双方のミスマッチングが課題として浮き彫りになることもある。異文化の企業同士を橋渡しし、新事業の創出を支えるコーディネーターの育成は欠かせない。

“ものづくり立県”の先進企業

群馬県中小企業モデル工場

群馬県中小企業モデル工場の認定板

「群馬県中小モデル工場制度」は製造業の経営モデルとして認められた工場を広く紹介することで、県内中小企業の自主・自立的発展を促すことを目的としている。特徴的で経営の合理化や独自技術・製品、業績などに優れた企業提案型・開発型企業を中心に顕彰。県の基盤である「ものづくり産業」の発展を促し、県が掲げる“ものづくり立県ぐんま”構想を支える中核工場として期待が寄せられている。

平成24年の指定企業は26社。いずれも先端的技術の追求や高度な品質管理に注力。生産効率の改善やアイデア商品の開発、収益力向上に取り組んでいる工場でもある。

■八木工業株式会社

1914年創業以来、「ものづくりを通して社会に貢献できる企業」を目指し、社員一丸となり開発・生産をしています。

軸受レース、ハブユニット、カーエアコンクラッチ、その他自動車及び機械部品の生産を主力に熱間鍛造、熱処理、機械加工までの一貫生産体制を整えています。

機械加工部門では2007年に高周波熱処理機を切削ライン工程内に配置し、無人運転指向で更に高効率・高品質な製品作りを行うことで徹底した合理化を図っています。

鍛造加工部門では2010年に大型鍛造品をターゲットに4000TONトランスファープレスを導入し、環境問題にも対応した新工法・新技術の開発に取組んでいます。

■IPF株式会社

変動の激しい市場環境における革新的なモータリゼーションの世界で、人と車に対する愛情と、ユーザーが安心と誇りを持てるような製品を生み出すことに多くの時間と多くの人々、技術、開発、企画力など企業としても厳しい挑戦を続けてきました。私達は今後も、ひとつひとつのモノにこだわりをもち続けながら、生み出されたIPF製品がそのまま企業の心を表わすような、独自性と、価値ある製品の開発に、企業としての全エネルギーを投入していきます。

■株式会社 日東電機製作所

1951年設立以来、家電、重電と技術力の蓄積を重ね、現在は（株）特電大泉製作所、（株）日東システム開発とともに、高度な信頼性が要求される電力会社向け保護監視システム、一般産業向け受変電監視制御プラントシステム、またマイクロコンピュータを利用した省力化システムの一翼を担うコンポーネント（設計・製造・試験まで一貫した）システムのエンジニアリング会社です。

2011年3月、本社を太田リサーチパークへ移転しました。また、新工場の日東イーキューブを新設いたしました。

なお、「キーボックスZK99E」、「デマンド監視制御装置ZK01A」を開発、好評販売中。

詳しくは、ホームページ http://www.nitto−e2.co.jpまで。

■株式会社 大西ライト工業所

1937年の創業以来、一貫してプラスチックに関わるものづくりに取り組んでおります。エンジニアリングプラスチックを中心に、熱硬化性樹脂やインサート成形、MIM（Metal Injection Mold）など、金型と成形の技術をベースとして、お客様のご要望に応じた成形品・二次加工品・SUB ASSY品をお届けしています。

自動車、産業機械、情報通信をはじめとするお客様とのお取引を通じて蓄積された効率性・安全性・確実性を、多様なニーズにあわせて柔軟に発揮し、お客様の製品実現をリーズナブルにサポートいたします。

また、技術交流やものづくりを通じたネットワークを活用し、異なる素材や加工法も含めたソリューションもご提供いたします。お気軽にお問い合わせください。

■関東精機株式会社

1961年創立以来「開拓者精神」をバックボーンとして創造力を常に養い、新製品の開発に徹する経営を続けている。工作機械の精度維持には必需品となったOILMATIC油温自動調整機、成形機の周辺機器として重要な地位を占めるMOLD MATIC金型温度自動調整機などはすべてオリジナル製品である。オートハンドリングシステムPICK MATICのシリーズ化も充実し、ローコストピック&プレイス、FAシステムモジュール「トレーチェンジャー」などを中心としたハンドリングの分野に展開が進んでいる。いずれの製品も社内外の生産合理化を軸として開発されており、そのノウハウは業界で高く評価されている。

■株式会社 秋葉ダイカスト工業所

1956年創業。金型設計・製作と、ダイカスト製品ではデザインからアセンブリ商品まで広く、一貫生産を行う専門メーカーである。当社の特色であるダイカスト方案と鋳造技術で差別化を図り、軽量化・一体化や特殊材料ダイカストのバリューアップ提案により、ダイカスト市場を切り開く。TPMやMFCAへの取組みや、ベトナム、タイのダイカスト金型・製品生産合弁会社3拠点を活用したグローバルでの総合生産効率UPを図りつつ、世界のユーザーに親しまれる日系ダイカスト専門メーカーへ邁進する。2007年元気なモノ作り中小企業300社に選定。

■杉原エス・イー・アイ株式会社

■RF-IDの技術を通して有線からワイヤレス、そしてアンワイヤ（Unwire）へと社会を変えて行きたいと考えています。

■時代の要請は常に、より小さくより高性能なものへとなっており、その実現に寄与するコア技術を持っています。
⇒0.4㎜×0.2㎜サイズの部品を高精度に商品化する技術

■今から15年前に群馬県で最初に半田槽におけるフロンガスの使用を全廃しました。

新たなステージの創造を目指して
新技術開発にチャレンジ
関東精機株式会社
KANTO SEIKI
本　社／〒371-0854・群馬県前橋市大渡町２－１－10
TEL:027(251)2121(代)　FAX:027(251)0924
江田工場／〒371-0836・群馬県前橋市江田町４５６
TEL:027(254)4544(代)　FAX:027(252)1519

独自の分野をひらいた　八木の技術
ベアリング及び自動車用部品、その他
各種機械部品の搾出鍛造、熱処理、機械加工。
各種専用工作機械製造
YAGI
八木工業株式会社
本社・工場　〒370-1201・高崎市倉賀野町３１２１番地
☎027-347-1211(代表)
ホームページ　http://www.yagi-kk.co.jp

価値ある製品を作り出すシステム・アーキテクチャー
電力制御・コンピュータ周辺装置
ISO 9001認証取得企業
NITTO
株式会社 日東電機製作所
本　社　〒373-0019・群馬県太田市吉沢町1030
☎0276(40)5200　FAX0276(40)5162
ホームページ　http://www.nitto−e2.co.jp

“金型から鋳造完成品まで”
2007年元気なモノ作り中小企業300社に選定
素形材環境優良工場・全国表彰受賞　技術と信頼を創る
AKIBA
ISO 9001 ISO 14001 BUREAU VERITAS Certification
株式会社 秋葉ダイカスト工業所
本社　〒370-0072・高崎市大八木町５８０
☎027 (361) 4499 (代表)　FAX027 (361) 0272

圧倒的な明るさと耐久性。
世界に雄飛するIPFランプ・“安全と品質保証”
「ISO9001・14001登録企業」
IPF
IPF株式会社
〒370-1201・高崎市倉賀野町２６５６
☎027(346)3311(代)　FAX027(347)3394

Various Solutions
エンジニアリング・プラスチックの成形加工並びに同金型の設計・製作
ONISHI
株式会社 大西ライト工業所
〒379-2206　群馬県伊勢崎市香林町２－1284
TEL:0270-20-2111　FAX:0270-20-2120
URL：http://www.onishilite.co.jp

SSEI 杉原エス・イー・アイ株式会社
エネルギー消費量の見える化
エコモニタリングシステム　検索